

競 技 上 の 注 意

競技審判上の注意

〔全般的事項〕

1. この大会は、（公財）全国高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び令和3年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
2. 審判はすべて大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは、学校対抗では準々決勝、個人対抗では準決勝より付けるものとし、その他の試合においては原則として付けません。
3. 選手は試合開始予定の1時間前までには会場に到着し、必ず「受付」を済ませてください。その際、体調チェックシートの提出がないと、入場は認められません。
4. 競技の進行を円滑に進めるために、「受付」「集合」等の時間厳守に努めてください。また、競技フロアの入退場の際には、会場備え付けの消毒液で必ず手指の消毒をしてください。
5. 試合の進行状況に応じて、予定された試合の開始時刻やコートを変更することがあります。放送には十分注意してください。
6. 試合を連続して行う場合のインターバルは次のとおりです。
＜学校対抗＞ 学校対抗が連続する場合は30分とします。
＜個人対抗＞ 個人対抗（単・複）が連続する時は20分とします
7. 各試合（マッチ）のインターバルは次の通りです。
○すべてのゲーム中、一方のサイドのスコアが11点になった時、60秒を超えないインターバルを認めます。（選手は20秒前にはコートに入ること）
○第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認めます。（選手は20秒前にはコートに入ること）
8. インターバル中のアドバイスは、監督・コーチなど同時に1人です。主審の「（コート番号）20秒」で、コートから離れてください。なお、コーチングシートを設けます。また、チーム関係者がラケット交換や水分等の補給のために入場し、コートに近づくことはできません。
9. 試合（マッチ）中の水分補給、汗ふきなどは必ず主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。ラケットやシャトルの交換時、試打は禁止します。
○タオル・ラケット・水分補給用のボトル等は、コートサイドにバックを持込みバックに入れてください。
○容器は倒れてもこぼれない蓋付ボトルを使用して下さい。
○保冷バッグは、コーチングシートにおいてください。
10. サービスの遅延行為に関する判定は主審が行います。
11. 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められません。
12. 次のような違反行為に対しては厳正に対処をします。（競技規則第16条）
○息切れなど体力回復等の遅延に関わる行為、又は、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせる行為。
○主審の許可なしにコートを離れること。
○故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
○審判員や観客に対しての横柄な振舞い、下品で無礼な態度、言動。
○見苦しい着衣でプレーをする。
○ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発したりするなどの品行な振る舞い。
13. 競技中は、必ず高等学校名・都道府県名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけてください。（背面の文字は明確に判読できるもの）
14. 競技中の怪我や病気については、主審が判断します。もし必要ならレフェリーを呼び、レフェリーの判断に従うことになります。
15. 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、学校対抗では当該選手と監督、個人対抗では当該選手に限ります。（監督は「IDカード」を必ずつけてください）
16. 選手は試合終了後、選手同士の握手、主審（サービスジャッジ）との握手は省略してください。
17. 競技フロア内では、スマートフォン等の通信機器の電源を切るか、もしくはマナーモードにしてください。また、競技フロア内でのスマートフォン等の通信機器の使用は、一切認めません。
18. 試合中にモバイル機器を使用したアドバイス・コーチングを受けることを禁止します。
19. 試合終了時、勝者サイン欄の自署は省略しますが主審が代筆し、勝者に確認してもらうこととします。
20. その他は、監督会議および、コロナ関連事項における打ち合わせ事項に準じます。

[学校対抗に関する事項]

1. 監督、コーチ、マネージャー、選手の変更は監督会議をもって最終のものとし、以後の変更は一切認められません。
2. タイムテーブル上で試合開始時刻9：15（1段目）に出場するチームに限り、試合開始前に当該コートでの練習を認めます。その時間は、先番チームが8：25～8：40、後番チームが8：40～8：55の15分間とします。
3. 初回戦のオーダー用紙は、監督会議資料の袋に同封してあります。次回戦以降は主審より直接手渡します。
4. オーダー用紙は、5枚複写で記入し、切り取らず5枚とも提出してください。
5. オーダー用紙は、オーダー交換所に提出して下さい。対戦校立合いのもとでオーダー交換を行いますので、時間厳守をお願いします。なお、競技1巡目は8：15とします。2巡目からのオーダー交換の時間は、放送でお知らせします。
6. 定時（指示のあった時刻）までにオーダー用紙の提出が無い時には「棄権」とします。
7. エントリーをしている者（監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5～7名）は、放送の指示で指定のコートのサービスラインに集ってください。
8. 試合開始前の練習は、対戦チームとあいさつを交わした後、主審の指示で各マッチ（試合）毎に3分間行ってください。なお、当初から2コート以上を用いて試合をする場合も同様に、マッチ（試合）の開始前に3分間行ってください。
9. マッチ（試合）は、1回戦より2～3コート並行して行うことがあります。その際、同一選手が連続して試合をする場合のインターバルは10分とします。
10. マッチ（試合）は、勝敗決定（3マッチ先取）後、打ち切りとします。
11. 勝敗が決定したら対戦チームとあいさつをし、主審の指示により退場をしてください。

[個人対抗に関する事項]

1. 選手の変更は、いかなる場合でも認められません。
2. 個人対抗に参加する選手は、試合前に試合会場での練習があります。詳しくは、会場練習タイムテーブルをご確認ください。
3. 選手は、放送の指示で指定のコートに集まってください。
4. 試合開始前の練習は、あいさつの後、主審の指示に従い、同時に3分間とします。（単の場合、対戦者同士で行ってください。その際、シャトルは大会本部が用意します。）
5. 勝敗決定後は、対戦相手とあいさつをし、主審の指示により、各自で勝者から退場してください。

[一般上の注意]

1. 各競技会場の開場は、7：30です。
2. 競技者は会場到着後、IDカードを着用（首にかける）の上、「受付」にて「検温」「大会の体調チェックシート（様式1）」の提出を済ませてから入場してください。
3. 各競技場では、担当委員の指示や会場の表示に従って、下履きと上履きの区別を付けてください。
4. 競技フロア内での飲食を禁止します。「競技上の注意、全般的事項9」に関わることのみ認めます。また、クーラーボックスなどのフロアへの持ち込みは禁止します。濡れた場合は、各校の責任できれいにしてください。
5. 部旗、応援旗を使用する際には、競技に支障をきたすことがないように配慮をお願いします。なお、大会本部が競技や大会運営に支障があると判断した場合には指示によって撤去してください。
6. フラッシュ・ストロボを用いての写真撮影は禁止します。また、会場施設内の電源（コンセント）の使用は禁止します。ご協力ください。
7. ゴミはすべて持ち帰り、各自で責任を持って処理してください。
8. 競技中の疾病、傷害については応急処置のみ主催者側で行いますが、その後は各自で処置をしてください。
9. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自（各チーム）で責任を持って行ってください。
10. 競技会場で2階の観覧席から応援する場合、指定された場所から離れることなく着席し拍手のみで応援してください。
11. チームの席を離れてビデオ撮影する場合は移動を認めます。ただし、カメラを操作する者は、その場にとどまることはできません。設置が済んだら自分の席に戻ってください。